

## アジア政経学会 2005年度第4回理事会 議事録

1. 日時 2005年10月1日 16:00-17:00
2. 会場 霞山会館9階 さつきの間
3. 理事総数 24名
4. 出席者 7名 (末廣、石井明、国分、毛里、中兼、若林、天児、山影)  
(+業務担当：深川)
5. 委任状提出者 12名
6. 出席者合計 19名
7. 議長 末廣理事長
8. 議事

\* 定刻に、末廣理事長が議長席に着き開会。まず、議長より本日の出席者は19名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、国分良成氏、石井明氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

### \* 検討事項

#### 1. 次期評議員の選出

##### (1) 評議員選挙の経過と結果報告

末廣理事長より、投票の結果と集計結果について以下の説明があった。

\*9月16日に投票締め切り。9月21日、東京大学社会科学研究所において、田嶋会員を開票立会人にたてて開票を実施した。

選挙人数 559名、被選挙人候補者数 515名、投票総数 219名、有効投票人数 216名、有効投票数 3748票。

\*10票以上獲得の被選挙人の名簿と属性に関する一覧を配布した。

\*理事24名に対しては、全員に開票結果について事前に通知した。

##### (2) 評議員候補者44名、監事2名の選出の基本方針

\*基本方針については、①年齢は65歳を超えない。②東日本、西日本のバランスを2:1とする。③ジェンダーバランスを重視する。④研究対象地域のバランスを考慮する。

\*一定の得票があっても、研究大会に顔をださないひとは外す。

\*評議員の選出後の理事の選出について：理事は若手、新規を重視する。所在大学のバランス、ジェンダーバランス、外国人を重視する。

\*次点について：評議員候補者の辞退を念頭において、六名の次点候補者を決定し、順位付けを行なう。ただし、辞退者の東西バランスを重視して繰り上げて行く。

(3) 意見交換

- \*理事の中には、経験の問題もあるため、最低現理事長は加わることにする。
- \*東西バランスは重視するが、東に投票が集中するため、評議員選出にあたっては、若干の東の比率への偏りはやむをえないと考えるべきである。
- \*外国人の積極的な選出はすすめるべきである。
- \*執行部経験者と新規の評議員・理事の「仕事の引継ぎ」「世代交替」をどうスムーズに進めて行くかが肝要である。
- \*執行部の編成にあたっては、理事長による推薦を認める。

(4) 選出結果

議論の結果、別紙のと通りの「評議員候補者リスト」を作成し、承認した。

末廣議長が午後5時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成17年10月1日

財団法人アジア政経学会

議長

末廣 昭



議事録署名人

岡本 良成



議事録署名人

石井 明

